



奥 久明

町長の公約

問 ソフト事業に力を入れる事が考えられるが、具体的な施策は。

答 新年度予算の編成に空き家対策、交通対策等について具体的対策を検討するよう指示した所である。

問 妙見口のせ号の土日運行は可能か。

答 現状、非常に難しい状況である。



問 町外の方が利用できるようにする施策等はあるか。

①町長の公約 ②ご遺体の火葬やご遺骨の保管

答 まだ7か月間の実績である。実績を踏まえ検討して行きたいと考えている。

問 本町では、そこにある自然自体が観光資源になると考える。町長は農林業のグリーンツーリズムを主要に考えておられるが、私はそれ以外の文化遺産、無形財産も含め全てが能勢の資源だと思っている。情報発信をまとめるため観光課の復活が必要ではないか。

答 観光を拝した部署ができればな、という思いは持っている。

問 ハード事業にも対応しないといけない状態であるが、残された公共施設の活用についてどのような対応を考えているか。

答 学校も含め用途廃止した公共施設については公共施設等総合管理に基づき、適時適切に取り組む。未耐震の施設については除却を基本とし、維持管理コストの低減を図り、加えて未利用状態の普通財産については譲渡、売却、貸付等を行う事によって財政的な負担を軽減していきたいと考えている。

ご遺体の火葬やご遺骨の保管

問 葬儀形式として火葬した遺骨をご家族が火葬場で引き取らず火葬場で処分するゼロ葬の導入は可能か。

答 既にご遺骨を引き取らない方に対しては対応している。

問 既にご遺骨を引き取らない方に対しては対応している。

一般質問



西河 巧

農林業の振興と町の活性化

問 本町の基幹産業である農林業の振興を図る事で町の活性化につながると思う。

答 農林業を取り巻く状況の認識と、今後の取組みについて伺う。

問 先ずは獣害対策について聞か。

答 獣害対策の三本柱として、個体群の管理、侵入防止対策、生息環境管理の強化につとめ、地域一体での獣害対策の取組みを検討する。

問 耕作放棄地の現状と今後の対策について聞か。

答 耕作放棄地は増加傾向にある。

問 耕作放棄地の解消には、地域で農業法人を設立し、耕作放棄地を利活用することで解消することが望ましいと考えている。

問 町域8割を占める山林の活用は、町の活性化に向けて非常に大事なところと思うが山林の活用について聞か。

答 山林の活用については、吹田市、豊中市と連携して、子どもたちが森林環境について学ぶため、森林をフィールドとした里山デイキャンプを実施している。

問 また、大阪府のアドプトフォレストを通じて、企業のCSR活動等の場として活用している。

答 観光物産センターの現状と今後について聞か。

問 観光物産センターの現状と今後について聞か。

答 観光物産センターの売上金額が5億円を超え、経営は良好であると認識しているが、生産者の高齢化による農産物の

安定的な確保の懸念や施設の老朽化、駐車場の不足などの課題がある。これらのことから、地域農業の振興及び観光、防災、地域創生など道の駅が有する多様な可能性を検討し、新しい観光物産センターの在り方について構想案を取りまとめているところである。